

不眠症治療薬：オレキシン受容体拮抗薬について

不眠症の治療には元来ベンゾジアゼピン系(BZ系)、非ベンゾジアゼピン系(非BZ系)の薬剤が主に使用されてきましたが、ふらつき・転倒・依存性など副作用が多いことが問題視されていました。

近年ではオレキシン受容体拮抗薬が開発され、依存性など副作用が比較的軽微なことから多く使用されるようになっていきます。

そこで今回は現在承認販売されているスボレキサント・レンボレキサント・ダリドレキサント・ボルノレキサントについてまとめています。



＜＜オレキシン受容体拮抗薬の比較＞＞

成分名 (商品名)	発売年 薬価(最大規格/錠)	T_{max} (hr) $T_{1/2}$	特徴
スボレキサント (ベルソムラ)	2014年 109.9円	1.5 10.0	併用禁忌薬剤あり
レンボレキサント (デエビゴ)	2020年 103.6円	1.3 50.6	併用禁忌薬剤なし 重度の肝機能障害患者に禁忌 半減期長い
ダリドレキサント (クービビック)	2024年 90.2円	1.0 6.16	重度の肝機能障害患者に禁忌 併用禁忌薬剤あり
ボルノレキサント (ボルズィ)	2025年 106.4円	0.5 2.13	重度の肝機能障害患者に禁忌 併用禁忌薬剤あり

* 必ずしも半減期が短い＝持ち越し効果が少ないという訳ではありません

* 添付文書より半減期はベルソムラ10mg・デエビゴ2.5mg・クービビック25mg・ボルズィ10mgのデータ

悪夢について

オレキシン受容体拮抗薬は従来の不眠症治療薬に比べて副作用が少ないとされていますが、副作用がないわけではありません。
特徴的な副作用の一つに悪夢があります。これはオレキシン受容体拮抗薬がREM睡眠を増加させることによって、夢を見やすくなるためとされています。
特に、ベルソムラでは悪夢の副作用の報告が多いため注意が必要です。

副作用を起こりにくくするために

- 食事から時間を空けて服用する
- 服用前のアルコール摂取を控える
- 無理して飲み続けない
- 用法用量を守って正しく使う



レンボレキサント受容体拮抗薬は副作用が少なく、安全性が高いとの評価で使用されることが増えてきています。
しかし、患者様の生活状況や病状によっては他の薬剤が良い場合もありますので、病院や薬局で気軽にご相談下さい。

薬剤部：大窪